

中長期計画 第2期 令和6年度～令和11年度

はじめに

平成29年に策定した第1期中長期計画では、利用者工賃や組織・職員構成、設備面についての方向性を定め、ビジョンを策定しました。令和元年度の終盤から始まった新型コロナウイルス感染症の影響を受け、食堂の営業停止などの変更を余儀なくされました。しかしながら、「丁寧な利用者支援」と「お客様に喜んでいただける仕事」というモットーを大事に、第1期で策定した方向性から外れることなく、着実に事業を実施することができました。

コロナ禍の影響を受け、第2期策定までに2年間が経過しました。この間、事業開始25周年を迎え、建物の老朽化や職員の入替、メンバーの高齢化などの課題も出てきました。

また、事業開始当初は、市内で初めての民間による授産施設でしたが、社会福祉制度改革により障害福祉サービス事業には社会福祉法人だけでなく合同会社やNPO法人、株式会社などが参入できるようになり、現在では15箇所の就労支援事業所ができました。また羽村市やあきる野市などの近隣を含めると、26箇所となります。

多くの事業所がある中、時代や地域の実情に合わせた柔軟な対応をするとともに、事業開始当初からの基本理念である「食べておいしい体に優しいお弁当」「障害を持つ人たちの個性を大切に、お客様に喜んでいただける仕事づくり」を変えることなく、地域に開かれた食と福祉の拠点として事業を進めます。

法人理念

- イ お弁当作り、食堂・売店での仕事を通して、地域住民の健康づくりに役立ちます。
- ロ 障害を持った人たちが仕事を通して社会参加することにより、自信や誇りが持てるように「お客様に喜んでいただける仕事」をすすめます。
- ハ 障害を持つ人たちの個別性を大切に、働く力と自立を高める援助をします。
- ニ 地域とのつながりを大切にし、地域に開かれた福祉施設としての歩みを大切にします。
- ホ ボランティアを積極的に受入れ、障害を持つ人たちへの理解を深め社会参加を助けます。

これまでのあゆみ

年	利用者	あゆみ
平成7年	-	ボランティアによる配食サービスの開始 目的：「青少年クラブなかま」の経済的支援 障害を持つ人の働く場づくり
平成9年	-	実習生の受け入れ開始
平成10年	5名	第1作業棟 落成、利用者受入開始
平成12年	12名/定員12名	小規模作業所「なかま亭」開始
平成15年	14名/定員12名	社会福祉法人認可、知的障害者通所授産施設
平成16年	16名/定員20名	第2作業棟 落成
平成22年	23名/定員20名	第3作業棟 落成
平成24年	27名/定員36名	就労継続支援B型事業所となる
平成29年	35名/定員36名	東青梅店営業開始（売店・イトイン）
平成30年	34名/定員36名	20周年記念式典。公式マスコットキャラクター誕生 グループホーム給食提供開始
令和1年	31名/定員36名	こどもの食育応援事業開始。東青梅店イトイン終了 メンバー永年勤続表彰制度開始
令和2年 （コロナ禍）	30名/定員36名	食堂営業停止。こども無料弁当の提供開始
令和3年 （コロナ禍）	31名/定員36名	食堂営業停止
令和4年 （コロナ禍）	33名/定員36名	食堂営業停止。インターネット環境の整備
令和5年	32名/定員36名	食堂再開。こども優先フリースペース開始 なかま亭25周年事業、記念Tシャツ・エコバック作成 クラブ活動開始（美術・運動・料理・合唱・写真部）



基本方針と目指すべき姿

基本方針	目指すべき姿	ビジョンを達成するための方法(方針)
基本方針Ⅰ 利用者に対する基本姿勢	<ul style="list-style-type: none">・一人ひとりに合わせた支援と質の向上・作業空間や環境改善に取り組む	<ul style="list-style-type: none">・高齢化に対応した支援マニュアルの見直し・更新・利用者環境の充実（トイレ環境整備含む）・利用者主体によるクラブ活動の充実
基本方針Ⅱ 商品・顧客に対する基本姿勢	<ul style="list-style-type: none">・衛生面に配慮された空間での調理製造ができる・安定した提供ができる職員体制の整備	<ul style="list-style-type: none">・調理製造備品の入替・授産部門における人員配置の見直し・安定した提供を行うための取引業者の拡充
基本方針Ⅲ 福祉人材に対する基本姿勢	<ul style="list-style-type: none">・支援・調理に必要な人材が確保できている・ワークライフバランスを整え、定着率を向上する	<ul style="list-style-type: none">・年間休日日数の確保（目標：105日）・福利厚生制度の充実・非常勤職員へのキャリアパスに沿った研修計画再構築
基本方針Ⅳ 地域に対する基本姿勢	<ul style="list-style-type: none">・地域における福祉・食の拠点として機能している・自治会との防災協定を活かした防災拠点となっている	<ul style="list-style-type: none">・フードバンク等、食材提供機関との綿密な連携・補助金・民間助成金の活用・地域諸行事等への積極的参加
基本方針Ⅴ 経営に対する基本姿勢	<ul style="list-style-type: none">・大規模修繕に向けた計画的な検討ができている・利用者が定員36名に達していて、安定した財源確保	<ul style="list-style-type: none">・建物修繕への具体的計画の検討・利用者確保に向けた積極的なPR活動